

図書館ニュース

本
き
読
ん
で
伝
え
る

No. 85

●平成25(2013)年11月30日●名古屋女子大学中学校高等学校図書館●

<http://lib.meiodai.ed.jp/>

「図書館」が好きです。

野田みどり 先生 (国語科)

小さい頃から図書館は馴染みの場所でした。幼い頃は絵本の並ぶお子様コーナーを利用していました。もちろんそこに読みたい本があるのですが、一方で一般の人が利用するコーナーに憧れてもいました。どんな本が並んでいるのか、あんなにたくさんの本には何が書かれているか、いつか自分も読めるようになるのか、など、幼い私にとって一般のコーナーで本を選ぶことは大人の証のようなものでした。たまに憧れの世界に足を踏み入れてみるのですが、背が届かず、漢字が読めず、子どもには厳しい大人の世界でした。試しに近くの本を引っ張り出したら重くて落とし、周りから白い目で見られる、といったこともありました。

大人になり、多くの図書館を利用しました。並んでいる雑誌の種類やおすすめ本紹介のポップ、ソファの座り心地や配置、学習室の雰囲気など様々でそういうところからも図書館の個性が見えてきます。光がたくさん入る明るい雰囲気の図書館も良いのですが、薄暗い蛍光灯がひっそりと照らしていて、本棚だけがずらりと並ぶような図書館も好きです。薄暗くて、かび臭くて、ひんやりとして、でもあらゆる分野のマニアックな本が揃っている、そういう硬派な図書館。通っていた大学の図書館がそんな雰囲気でした。大学を卒業してからは、鶴舞図書館や愛知県図書館をよく利用しています。最新号の雑誌やいろんな種類の新聞に目を通してから、目当ての本を探しに行きます。目当ての本を見つけてからも、本棚の間をふらふら歩いて、面白そうな本を探します。気になる本を見つけてわくわくしたり、ずっとずっと探していた本を見つけて小躍りしたい気持ちになったり……気がつけば5~6冊くらいの本をずっしりと抱えています。帰りの鞆は予想外に借りた本でばんばんですが、その重みの分気分はほくほくです。

図書館の魅力は何と言っても「読みたい本を自由に選んで読める」ことです。本を買って後悔することたまにあります。それが続くと本を買うにも慎重になるのですが、図書館はそういう心配をすることなくさまざまな本にチャレンジできます。懐の深い施設です。いろいろな本を気軽に手に取ることで、読んだことのない作家の魅力を発見したり、興味のなかったジャンルに興味を持つきっかけになったりします。本を選ぶということは自分の世界を広げることに繋がります。発見の喜びです。

自分が住んでいる地域の図書館を利用してみてください。もしくは、今まで足を踏み入れたことのないフロアに行ってみてください。そして自分の世界を広げてください。

本を読むスタイルには2種類あります。
 ひとつは、読書——小説等を読むことです。もうひとつは、物事を調べること——課題やレポートの調べもののために本を読むこと。これも読書のひとつのスタイルです。
 今回は、本を読んで、その感想や調べたことを伝える方法を紹介したいと思います。

レポート・論文とは？

テーマについて、意味や事実、データなど知識や情報を調べ、自分の洞察（考察）を含めた結論を導きだします。レポート・論文とは、それらを文章にまとめたものです。

レポート・論文を書いてみよう ① テーマを決めよう

まず、与えられたテーマ（課題）のなかで **自分は何について書くか＝論点** を決めます。

レポート・論文を書いてみよう ② テーマ（課題）について調べよう

① まずその課題・言葉の定義を知ること

百科辞典を使いましょう。

課題を調べるために……おすすめデータベース「**ジャパンナレッジ**」
 「ジャパンナレッジ」は百科辞典やニュースなど役立つ情報や知識を使いやすく分類・整理・蓄積してあるデータベースです。

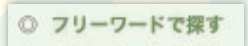


たしかかな情報源だから、レポートの参考文献としても書けます。『日本の論点』なども搭載しているので“今”の問題を知りたいときにもおすすめ。

② 課題について分野別辞典、専門書などで更に詳しく調べる

自分の論点＝[書きたいこと]が決まったら、本を探してみよう。まずは学校図書館のOPACを使って関連の資料がないか、探してみましょう。

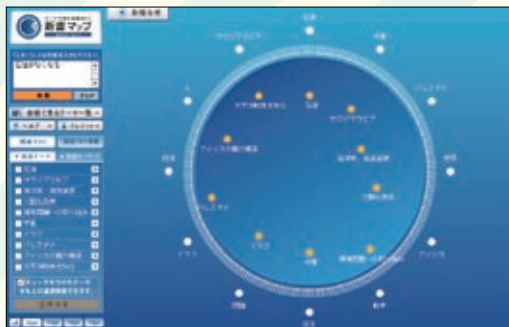
学校図書館 HP の【資料を探す】**◎フリーワードで探すから** キーワードで検索しましょう。



検索結果から見たい資料が決まったときは、分類記号1、分類記号2、副本記号をメモしましょう。それが請求記号です。分類記号1に書いてある数字で館内に案内板が出ています。

ほかの関連書もみたいときは、この「**新書マップ**」がおすすめです。

【文章】で入力しても関連するキーワードやその内容が書いてある新書を表示してくれます。もちろんキーワードでも検索できます。本を探す以外にも、テーマが絞りきれないときにもおすすめです。



【「新書」とは、1つのテーマについて基本的なこと、専門的な内容がわかりやすく書かれている本のことです。】

まるで本棚に並んでいるかのように関連の資料が表示されます。それぞれの新書の解説や、関連テーマの説明、また、関連サイトの紹介もあります。

キーワードから連想される周辺のテーマも表示してくれる、便利なマップです。

レポート・論文を書いてみよう ③ 参考文献について

参考文献とは、レポート、論文を書く際に使った資料のことです。その資料を見てテーマに関する知識を得たときには必ず記載しましょう。参考文献が書いていないと、自分の意見に何の裏づけ（証拠）もないことになり、それはレポートとして成り立ちません。必ず2冊以上書きましょう。

平成24年度卒業記念寄贈品紹介

昨年度、高校を卒業した先輩より卒業記念にたくさんの贈り物を頂きましたので、紹介します。

学習用テーブル3個

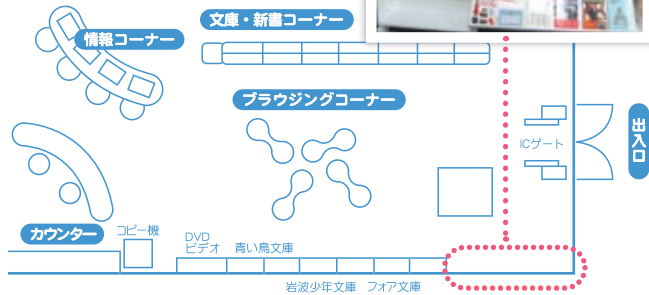
ブラウジングコーナー用のテーブルとして三角形のテーブルを3個寄贈していただきました。



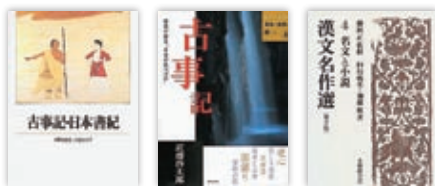
三角形の組み合わせで様々な形を変えられるので、雑誌や新聞を見るためにはもちろん、授業中に数人で調べ物をするときにも活用してもらえます。

雑誌架

図書館では、昨年度から新たに「月刊新聞ダイジェスト」と「美術手帖」の2誌の購読を始めました。そのため、いままでの雑誌架では収まりきらなくなり、あらたに書架を寄贈していただきました。雑誌、新着図書用の書架として活用していきます。



『新潮日本古典文学アルバム』 『ビジュアル版日本の古典に親しむ』 『漢文名作選 (第2集)』



高校国語での調べ学習用に古典、漢文の資料を寄贈していただきました。調べ学習だけでなく、教養のためにもぜひ手にとってみてください。

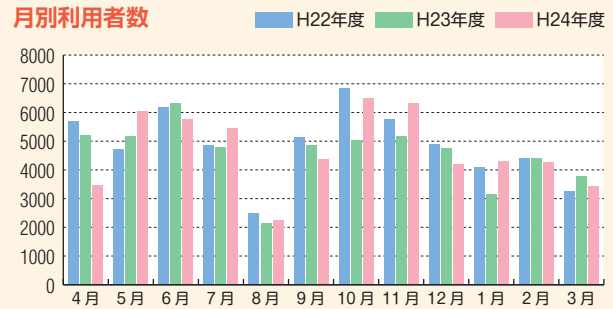
編集後記

今年も10月27日から11月9日が読書週間でした。読書週間の今年の標語は『本と旅する 本を旅する』でしたが、秋の夜長、皆さんたくさん本を旅できたでしょうか。図書館にもさまざまな本がありますが、本の使い方として今回は読書としての使い方と物事を調べるための使い方について紹介しました。もちろん、どちらの場合も感動や知識の扉を開ける旅へとみなさんを誘ってくれます。調べるときに便利なデータベースや雑誌の紹介もありますので是非活用してみてください。

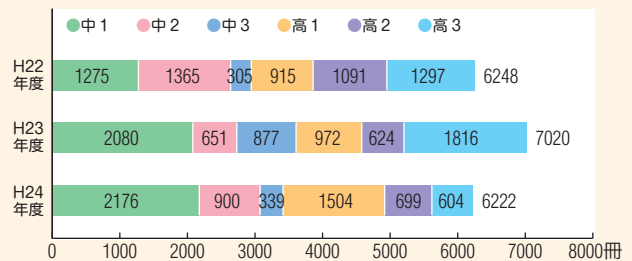
平成24年度利用状況

行事の関係か、月によっては前年度の利用者数を下回る月もあるものの、おおむね前年度比増でした。朝読書による読書習慣の定着や調べ物や自己学習での図書館利用が定着してきたことが伺えます。

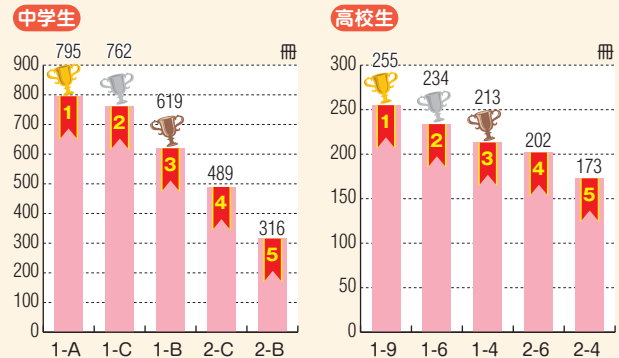
月別利用者数



学年別貸出冊数 [過去3年比較]

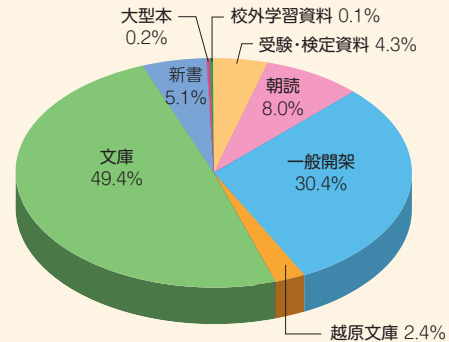


貸出冊数上位ランキング



中学生は主に文庫の貸出を利用していることが多かったようです。高校生は授業での図書館利用が少なかったため、授業用の資料の貸出が少なくなりましたが、自分の読書や自己学習のための貸出が多く見受けられました。

コーナー別貸出比率



今年は文庫が充実したせいも、昨年度より文庫の貸出比率が10%アップしました。朝読コーナーや受験検定コーナーも安定した貸出を維持しています。図書館にどのような本があるかという認識が定着し、必要に応じて活用しているようです。